**ナショナルジオグラフィック**

**密着！ホルヘ・チャベス空港警察**

**（AIRPORT SECURITY: PERU）**

**＃305**

**ＡＲ 　年　月　日(　):00～**

**ＤＢ 　年　月　日(　) : ～ :**

**日本語版製作**



【日本語版制作スタッフ】

翻訳　　　　　子安 則子

演出

調整

収録スタジオ

制作担当

制作担当

制作会社

【登場人物】（登場順）

ナレーター

チャン

マリルー

ジョゼフ

コルドバ

サルダナ

運び屋男

男性警官１

シルビア

サルダナ

メキシコ人女

ラクエル

ジョセフ

ヤネラ

ハイディ

キャサリン

女性職員

カルラ

マリッリ

ホンジュラス人男

男性警官２

プロデューサー男

男性審査官

男性職員

ガブリエラ

アズリン

ロシア人男

マリッリ

マリルー

ロシオ

女性警官

男性警官３

ジョバンニ

マリオ

【梗概】

ペルーの首都リマにある、ホルヘ・チャベス国際空港。連日大勢の麻薬取締官が、密輸の摘発に全力を挙げている。ペルーは世界有数のコカイン生産国で、この空港では運び屋たちがさまざまな手口でコカインを海外へ持ち出そうとしている。

リマで学校を探していたと主張していた３３歳のメキシコ人女性をボティチェックしたところ、コカイン入りの袋を体にはりつけて密輸しようとしていたことが判明。これは「ミイラ」と呼ばれる手口だ。彼女が乗ろうとしていた便に別の運び屋がいる可能性があるため百人以上の乗客を飛行機から降ろし全員を調べることになった。

マドリードへ向かおうとしていた男性の荷物から異臭が漂っていたのでスーツケースを調べると、大量のクミンパウダーが衣類にかかっていた。麻薬探知犬をかわすために麻薬密売人がよく使う手口だが、この運び屋は合計８キロ以上のコカインを隠し持っていた。

新しいパスポートを所持していて荷物が１つもない男性のＸ線写真を撮影すると、胃の中に異物があることが判明。病院へ移送され異物を排出する処置を受けた結果、コカイン入りのカプセル５０個を飲み込んでいたことが明らかとなる。

２８歳のロシア人男性のスーツケースを調べたところ、プロテインパウダーの大きな容器２つの中に薬物がぎっしり詰まっているのが見つかる。このロシア人は検査室を出るのを拒み、混雑したターミナルを避ける別ルートをとることになり、その見返りとして薬物密売グループの情報を提供する。

　　　画　　　　　面 音　　　　　　　　　　声

空港外観

 　　　（Ｍ　ＩＮ）

０１：４０ ナレーター ペルーの首都リマにあるホルヘ・チャベス国際空港。

０１：４９ 空の玄関を脅かすのは…

０１：５２ 不法出入国。

０１：５４ そして密輸。

０１：５６ どこの空港も抱える問題ですが、この空港が抱えている一番やっかいな問題は…

０２：０３＝０６：２８ チャン そのスウェットシャツを脱いでください。]

０２：０６ ナレーター コカインの密売。

０２：０８＊３５：３５編集 マリルー [これはコカインの陽性反応です。]

０２：１１ ナレーター ペルーは世界有数のコカイン生産国です。

０２：１７ 密売人はあらゆる手を使い…

０２：１９＝１７：４８ ジョゼフ [スーツケースも上着もパウダーまみれだ。

０２：２２ ナレーター 密輸を企てます。

０２：２４ ７分おきに飛行機が離陸する中…

０２：２７＝２７：０４ コルドバ すぐに向かいます。

０２：２８ ナレーター 犯罪を摘発する空港警察。

０２：３１＊２９：４９編集 サルダナ 何を飲み込んだ？

０２：３２＝２９：５２ 運び屋男 [小さな袋。]

０２：３３ ナレーター ２４時間３６５日、空港はフル稼動。

０２：３８ ホルヘ・チャベス国際空港でセキュリティを担う仕事に休む時間はありません。

０２：４８　シリーズ タイトルAIRPORT SECURITY PERU

ＡＣＴ１ 　　　（Ｍ　ＩＮ）

０２：５３ ナレーター ペルーの首都リマにあるホルヘ・チャベス国際空港。

０２：５７ ペルーの世界都市であるリマからほんの８キロほどの所に位置しているこの空港はおよそ１千万人の都市圏の人々や、世界中からやって来る旅行客が利用します。

０３：１２ 年間の利用客はおよそ１９００万人にのぼり、１日のフライト数は５００本近くにおよびます。

０３：２４ 旅行客のなかに「ブリアー」、つまりペルーでいう「運び屋」がいます。ここで摘発される違法薬物の大半はコカインです。

０３：３６ メキシコ便が出発準備を進めています。メキシコはホルヘ・チャベス空港からの密輸が最も多い目的地です。

０３：４４ 不審な乗客がいると、麻薬取締官チームにすぐ報告が入ります。

０３：５０ チャン 女性？

０３：５１ 男性警官１ そうです。

ペルー国家警察

麻薬取締官

０３：５３※英語かぶせ チャンＯＮ [午前４時頃に搭乗手続きをした乗客に不審な点があると報告がありました。その女性客は搭乗エリアへ来てセキュリティを通過してから再び搭乗エリアを出たそうです。]

ペルー国家警察

麻薬取締官

０４：１０※英語かぶせ シルビアＯＮ [搭乗エリアから出るのは怪しいサインです。違法というわけではありませんが通常の旅行者はあまりとらない行動です。]

ペルー国家警察

麻薬取締部門 責任者

エドウィン･サルダナ

０４：１９※英語かぶせ サルダナＯＮ [空港の防犯カメラに朝の７時頃その女性客が戻ってきて搭乗口へ向かう姿が映っていましたので、セキュリティを通過するのを待ってから我々は彼女を引き止めました。

０４：３３ チャン おはようございます。

０４：３４ 警察です。パスポートを確認させてください。

０３：４０ ナレーター この３３歳のメキシコ人女性は、リマで学校を探していたと主張しています。

０４：４８ チャン ペルーへは何をしに？]

０４：５０ メキシコ人女 受講するコースを探しに来ました。

０４：５２ チャン 受講するコース？]

０４：５４ [何か気に入った情報はありましたか？

０４：５８ メキシコ人女 ええ、見つかりました。

０５：００ チャン [そのパンフレットや書類などは持っていますか？

０５：０９ これは学校でもらった物ですか？ 違う？

０５：１３ メキシコ人女 それはインターネットで。

０５：１４ チャン 受講料の提示は？学校へ聞きに行きました？

０５：１７ メキシコ人女 はい、学校へ行きました。

０５：１９ チャン チラシか何かもらいませんでしたか？リストや登録申請書とか…

０５：２１ メキシコ人女 いいえ。また来るように言われました。１２月に登録するからと。

０５：２８※英語かぶせ チャンＯＮ [学校の書類らしきものは確かにありましたが、それは彼女がインターネットから印刷したものでした。実際に学校から入手したものではなかったのです。そのため我々は彼女がウソをついているのではないかと疑念を抱きました。]

０５：４９ 搭乗エリアにいましたか？

０５：５１ メキシコ人女 はい。

０５：５１ チャン そして再び外へ出ましたね。それはなぜですか？

０５：５５ メキシコ人女 ＩＤ証と出生証明書を忘れたからです。

０５：５８ チャン どこに？

０５：５９ メキシコ人女 ホテルに。調べてもらえればホテルへ行って戻ってきたことが分かります。

０６：０４ チャン [ホテルは近く？

０６：０５ メキシコ人女性 はい、ここから近いです。

０６：０７ ナレーター 麻薬取締官たちの疑念は消えません。

０６：１１ いったん搭乗エリアを離れた乗客のことを警察は潔白だという確信が持てないのです。

０６：１８ チャン それではボティチェックさせてもらいます。搭乗エリアを離れてまた戻ってきたので、検査しなくてはなりません。いいですか？まずそのスウェットシャツを脱いでください。

０６：３１ [脱いでください。]

０６：３３ ラクエル 上着を脱いで。]

０６：３６ [下からまくって。]

０６：４４※英語かぶせ チャンＯＮ [彼女はひどく緊張しているようでした。上着を脱ぐように促すと、腕を動かすたびにビニールがこすれるような音がしました。]

０６：５８ ラクエル [どうも。]

０７：０１ [ではその黒いシャツを上に上げて。]

０７：０７ [何を隠しているんですか？]

０７：０８ メキシコ人女 私は心臓が悪いので、これを使う必要があるんです。

０７：１３ チャン [そうですか。では黒いシャツを脱いで、その下に付けている物を見せてください。

０７：２２※英語かぶせ チャンＯＮ 彼女がスウェットシャツをまくり上げると、透明なビニール袋の包みがテープで貼りつけてあるのが見えました。袋の中身は白いペースト状のものでした。]

０７：３５ チャン スウェットパンツも。

０７：３９ ラクエル それは足のほうまで続いてる？

０７：４１ メキシコ人女 はい。

０７：４１ ラクエル ズボンを下げて。

０７：４３ チャン もっと下ろして。]

０７：５４ メキシコ人女 これは下まで続いています。

０７：５６ チャン 足元までね。分かりました、ズボンを上げてください。

０８：００ ラクエル [どこで手に入れましたか？]

０８：０１ [それは心臓の薬じゃないでしょう。どこで手に入れたんですか？]

０８：０９ メキシコ人女 電話があって、こうするように言われて…

０８：１２ ラクエル [ホテルに？]

０８：１３ メキシコ人女 はい。

０８：１４ チャン [それでは薬物検査を行います。]

０８：２０ [検査結果を見てください。いいですか？この麺棒の色が変色したらコカインの陽性反応です。麺棒が青くなりましたね。あなたが所持している物質にコカインの陽性反応が出たということです。つまりあなたはコカインを隠し持っていたということです。]

０８：４１※繰り返し [青くなりました。]

０８：４４※繰り返し [コカインを隠し持っていたということです。]

 （Ｍ）

０８：５６ ナレーター 昼間のホルヘ・チャベス国際空港は大忙しです。

０９：０１ この先数時間、国際線のフライトの出発が続きます。

０９：０６ 麻薬取締官はターミナルのチェックインカウンター付近に目を光らせます。

０９：１２ 麻薬取締班のプロファイラーがマドリード行きの乗客に目をつけ、その男性を調べるために検査室へ連行します。

０９：２１※英語かぶせ サルダナＯＮ [この男性は搭乗手続きでマークされました。彼はリマからパリ経由でマドリードへ向かおうとしていました。

０９：２７ ナレーター 一見したところ密輸の形跡はありませんが、荷物から異臭が漂っています。

０９：３３ 彼が不審な態度をとっていたこともあり、警察は捜査を続けることにしました。

０９：４０ 麻薬取締本部へ移動します。

０９：４３ ここで、彼は徹底的に調べられます。

０９：４９ ジョセフ スーツケースの中身を確認します。]

 （Ｍ）

０９：５９ ヤネラ [何？]

１０：０２ ナレーター スーツケースを調べると興味深いことが判明しました。

１０：０７ ヤネラ [パウダーね？]

１０：０９ ジョセフ そうだ。

１０：１０ ヤネラ [強烈なニオイのスパイスパウダーを見つけました。

１０：１４ ナレーター 大量のクミンパウダーが衣類にかかっています。これは麻薬探知犬をかわすために麻薬密売人がよく使う手口です。

１０：２５ ヤネラ [お大事に。]

１０：２６ ジョセフ [ありがとう。]

ペルー国家警察

麻薬取締官

１０：２７※英語かぶせ ヤネラＯＮ [クミンパウダーを使ったのは麻薬探知犬がニオイを嗅ぎつけないようにして我々のチェックをすり抜けるためです。カバンを開けると皆がクシャミをし始めました。]

１０：３９ ナレーター 捜査が進むごとに部屋じゅうにクミンの粉がどんどん広がり、非常に仕事がやりづらくなります。

１０：４７ この困難な状況にもかかわらず捜査チームは辛抱強く作業を続け、怪しげなベストを発見しました。

１１：０７ ジョセフ [では薬物検査を行います。]

１１：１０ [薬物の陽性反応です。]

１１：１４※繰り返し [薬物の陽性反応です。]

１１：３１ ナレーター 麻薬取締官はペルーのリマからメキシコへ向かう乗客を逮捕しました。

１１：３５＝０６：２８ チャン そのスウェットシャツを脱いでください。

１１：３９ ナレーター コカインを体にはりつけて密輸しようとしていました。

ペルー国家警察

麻薬取締官

１１：４４※英語かぶせ ハイディＯＮ 彼女が服を脱ぐと、ドラッグ入りのビニール袋で出来たジャケットとズボンを着ているかのようでした。体じゅうドラッグ入りの袋で覆われていました。これは「ミイラ」と呼ばれている手口です。]

１２：０１ ナレーター 運び屋のこうした密輸の手口を警察は「ミイラ」と呼んでいます。

１２：０９ ベストやズボンに薬物を入れたり、テープや包帯でじかに体に貼り付ける方法です。

１２：１７ ラッピング状態にされた運び屋のぎこちない動きがホラー映画に出てくるミイラを彷彿とさせるからです。

１２：２６ チャン はい、結構です。

１２：２７ ナレーター フライトの出発時刻が迫っているため情報を引き出そうとします。麻薬密売人は同じ便に複数の運び屋を送り込むことが多いのです。

１２：３６ ラクエル [単独行動？それとも同行者はいる？

１２：３９ メキシコ人女 いいえ、１人です。

１２：４１ ラクエル ホテルでコカインを運ぶように指示されたの？

１２：４５ チャン すでに厄介な状況にあるから、よく考えて答えて。あなたは外国人なので、なおさら自分の身を守らないとね。では質問します。

１２：５４ ここへ誰かと一緒に来た？あなたと同じような方法で、あるいは別の方法で麻薬を運んでいる誰かと一緒に空港へ入りました？

１３：０５ どうですか？

１３：１０ そう？

１３：１１ メキシコ人女 はい。

ペルー国家警察

麻薬取締部門 責任者

エドウィン･サルダナ

１３：１２※英語かぶせ サルダナＯＮ [彼女は同じ手口を使っている乗客が他にもいるかもしれないと言いましたが、その人が到着したかどうかは知らないそうです。]

１３：２２ ナレーター 別の運び屋が同じ便を利用するなら迅速に対処しなくてはなりません。

１３：２７ チャン [あなたは麻薬取締部門によって逮捕されることになります。分かりましたか？]

１３：３６ [両手を体のうしろへ。]

１３：３７ ナレーター この乗客は逮捕の手続きを完了するため麻薬取締本部へ移送されます。他の捜査官たちは出発する便に注意を振り向けます。

１３：４６ ハイディ [この便は１０時３５分から４５分に出発するから、すぐに向かって丹念に検査を行って。彼女は誰かと一緒に来たはずよ。]

１３：５６ ナレーター 麻薬探知犬チーム２班が残りの乗客をチェックしますが、すでに手遅れかもしれません。

１４：０５ キャサリン [ええ、搭乗手続きは終わりました。

１４：１０ 搭乗エリアにはいません。飛行機は滑走路４４で、

 バスに乗るのを待っている乗客が１０人から１５人ほどいるだけです。

１４：２３ ナレーター 警察はゲートに残っている数人をチェックしますが、該当者はいません。

ＡＣＴ２

１４：３１ ナレーター 麻薬取締官が出発間際の飛行機に急行します。搭乗を終えた１００人強の乗客の中に運び屋が紛れていると考えているのです。

１４：４３ キャサリン おはようございます。この便の責任者はあなたですか？

１４：４６ 女性職員 はい。

１４：４７ キャサリン この便を検査するよう検察に命じられました。主に乗客をです。「ミイラ」の手法を用いたコカインの密輸が発覚したんです。体にはりつけてコカインを隠していました。

１５：０３ 飛行機から乗客を降ろして探知犬にチェックしてもらっても構いませんか？

１５：０８ 女性職員 乗客を降ろして？

１５：０９ キャサリン ええ、列に並んだところをチェックします。

１５：１３ 女性職員 エドゥアルド。

１５：１６※英語かぶせ サルダナＯＮ １００人以上の乗客を飛行機から降ろし、警察が全員を調べます。このケースでは検察当局と連携し、彼らが飛行機を止めることを決定しました。

 （Ｍ）

１５：４５ ナレーター ベストにコカインを隠してマドリードへ向かおうとしていた若い男性が逮捕されました。

１５：５１ 彼のカバンは麻薬探知犬をあざむくためにクミンでおおわれていました。

１５：５６ ジョセフ [薬物の陽性反応が出ました。]

１６：００ ナレーター ２つ目のスーツケースには、さらにクミンが入っていました。

１６：０６ そしてコカインを詰めたベストがさらに見つかりました。

１６：１１ ジョセフ 薬物を詰めた衣類を見つけました。]

１６：１４※繰り返し [薬物を詰めた衣類…]

１６：１７ カルラ [スーツケースの中から薬物が発見されたので、あなたは拘束されます。]

１６：２３ ナレーター スーツケースを調べ終えた警察は尋問を始めます。

１６：２８ マリッリ [これからいくつか質問するので協力してください。]

１６：３２ 大きな声ではっきり答えてください。

 [このスーツケースはあなたの物ですか？

１６：３８ ホンジュラス人男 はい。

１６：３９ マリッリ [スーツケースの中身もあなたの物ですか？

１６：４３ ホンジュラス人男 いくつかはそうですが、そうじゃない物もあります。

１６：４７ マリッリ [あなたのではない物の所有者は誰ですか？

１６：５０ ホンジュラス人男 分かりません。

１６：５２ マリッリ 誰に渡された物ですか？

１６：５４ ホンジュラス人男 ある女性が荷造りしました。

１６：５５※繰り返し [ある女性が荷造りしました。]

１６：５８ マリッリ [その女性はどうやってあなたに近づいてきたんですか？

１７：０２ ホンジュラス人男 彼女とはインターネットを通じて知り合いました。

１７：０５ マリッリ その女性があなたと一緒にホテルへ来てスーツケースに服をつめたのですか？

１７：１０ ホンジュラス人男 上着が入ってると言われました。そして、どこかへ行ってしまいました。

１７：１６ マリッリ あなたは中身を知らなかった？

１７：１８ ホンジュラス人男 まったく知りませんでした。

１７：２０※繰り返し [まったく知りませんでした。]

１７：２４※英語かぶせ サルダナＯＮ [このケースで興味深いのは、ＳＮＳを通じて彼が勧誘されたという点です。ですが結局、本人がそう言っているだけですからね。

１７：３７ ナレーター 検察の前で麻薬取締官たちはコカインの密輸量を断定しなくてはなりません。

１７：４４ しかしクミンが作業を困難にしています。

１７：４８ ジョゼフ [スーツケースも上着もパウダーまみれだ。

１８：０３ 男性警官２ [各ベストに６袋ずつ隠してある。]

ペルー国家警察

麻薬取締官

１８：１６※英語かぶせ ヤネラＯＮ スーツケースの中身を取り出すと黒い袋がありました。その黒い袋の中に透明のビニール袋が入っていました。中身は薬物です。

１８：２６※繰り返し [薬物です…]

１８：３０ ナレーター 逮捕手続きの最終段階に入ります。

１８：３４ ２つのスーツケースに入っていたコカインの重量をはかります。

１８：４１ ジョゼフ [１つ目のスーツケースには４キロ２２０グラム。]

１８：４５ [２つ目のスーツケースには４キロ８６グラムのコカインが入っていました。

１８：５２※英語かぶせ サルダナＯＮ 合計で約８キロ３００グラムでした。高額で取引される量です。これほど大量のコカインをリスクを冒して運ぶのは大きな組織の犯行でしょう。

１９：０４ プロデューサー男 [クミンだらけだと知ってた？]

１９：０６ ホンジュラス人男 いいえ、知りませんでした。]

１９：０７ プロデューサー男 [スーツケースを渡されただけ？]

１９：０９ ホンジュラス人男 僕の服を整理してたけど、まさかこんな物を入れて運ばされるとは思わなかった。ジャケットがあったのは知ってたけど…その中身は知らなかった。

 　　　（Ｍ）

１９：２２ ナレーター この乗客が有罪になれば、８年から１５年の刑となる可能性があります。

１９：２８ しかし彼を雇った密売人に関する有効な情報を提供すれば、減刑となるかもしれません。

コカイン8.31キロ

懲役８年～１５年

目的地：マドリード

ＡＣＴ３ （Ｍ）

１９：４６ ナレーター メキシコへ向かおうとして麻薬取締官に足止めされた女性は体に薬物をはりつけていました。ミイラと呼ばれる手口です。

１９：５４ チャン 誰かと一緒に来ましたか？

１９：５５ メキシコ人女 はい。

１９：５６ ナレーター 同じ便に別の運び屋がいる可能性があるため、警察は思い切った手段に出ました。飛行機の出発を遅らせます。

ペルー国家警察

麻薬取締官

２０：０７※英語かぶせ キャサリンＯＮ [麻薬取締を担当する検察に連絡しました。すると機内と乗客を調べるまで飛行機を足止めするようにと検察から指示されました。

ペルー国家警察

麻薬取締部門 責任者

エドウィン･サルダナ

２０：１９※英語かぶせ サルダナＯＮ 麻薬探知犬を使い、乗客と手荷物を調べました。]

 その間に他の捜査官たちが機内を調べました。]

２０：３１ ナレーター 機内の捜索も乗客のチェックと同様に徹底的に行います。

２０：３７ 検査のために飛行機から降ろされる前に運び屋が機内のどこかに隠そうとした可能性があります。

２０：４７※英語かぶせ キャサリンＯＮ 我々は機内を調べました。トイレや機内食を用意するエリアや座席の下やその他の隠し場所となりそうなところをくまなく見て回りました。]

２１：０１ ナレーター こうした検査は手間がかかりますが効果的です。すべてをチェックできるからです。この便は出発時間がわずかに遅れた後、離陸許可が出ました。

２１：１５ 一方、拘束された女性乗客の調べはまだ時間がかかりそうです。逮捕の手続きを進めるため麻薬取締本部へ向かいます。

２１：２８ チャン [漏れてる？]

２１：３３ [そう、この袋。

２１：３６ うしろが開いてるわ。

２１：３９ ハサミを。

２１：４３ [ええ、開いてますね。]

２１：４６ [体にテープではりつけてあるものを今からはがしますので、こちらへ来てください。

ペルー国家警察

麻薬取締官

２１：５３※英語かぶせ チャンＯＮ [彼女が着用していたものを彼女が取り除くと小さな穴が開いていて、そこからコカインが漏れていることに気づきました。袋から出た薬物がズボンや体についていたのです。

２２：０７※英語かぶせ サルダナＯＮ [体に付着した薬物を迅速に取り除く必要がありました。毛穴から薬物が吸収されて健康被害が生じる怖れがあるからです]

ペルー国家警察

麻薬取締官

２２：１７※英語かぶせ シルビアＯＮ [ミイラと呼ばれる手口の場合、薬物が入っている袋が破れると、まずその薬物で体が蝕まれます。そしてもし持病やアレルギーがある場合は発熱など別の症状があらわれることもあります。

２２：３２ チャン 体にテープで止めていただけ？何かを飲み込みました？

２２：３６ メキシコ人女 いいえ。

２２：３７ チャン そう勧められた？

２２：３８ メキシコ人女 いいえ、決して。

２２：４０ チャン [体内にはない。体に貼っただけ？]

２２：４１ メキシコ人女 ええ、そうです。

２２：４２ チャン [分かりました。では脱いで。]

２２：４７ 靴を脱いでください。]

２２：５０ かがまないで。うしろが破れるかもしれないから。]

 ラクエル そう、まっすぐ立ってて。

２２：５８※英語かぶせ チャンＯＮ [何よりも驚かされるのは、運び屋となる容疑者たちがこのように肌着もつけずに薬物を運ぶようにうまく言いくるめられていることです。今回運び屋となった女性は下着をつけていませんでした。薬物が入っている袋を肌に直接はりつけていたのです。]

２３：２３ ナレーター この女性は捕まるリスクと健康をそこなうリスクを冒していましたが、ようやく事態の深刻さが分かってきたようです。

２３：３５ チャン [あなたはこれからどうなる？]

２３：３６ メキシコ人女 刑に服すわ。お金に目がくらんだの。

２３：４０ ボーイフレンドにそそのかされて、こんなことになってしまった。彼が密売人と私を引き合わせたのよ。

２３：４７ 「君ならできる、いい金になる」と彼に説得されて。

２３：５５ 夢だった仕事を始めるつもりだったの。

２３：５９ [飲食業をしたかった。

２４：０４ 孫の誕生日を祝いたかった。私には孫がいるの。

２４：０８ チャン [そうなの？

２４：０９ メキシコ人女 [今度の土曜日に１歳になる。

２４：１１ [それなのに、こんなことに。]

２４：１３ チャン [誰に電話しますか？]

２４：１８ メキシコ人女 誰にもかけない。いずれニュースで知ることになるだろうけど連絡しないほうがいい。だって母を傷つけたくないから。しばらくみんなには私のことを忘れていてほしい。

２４：３４ [こんなことをしたなんて母に言えな*い*し、誰かに言っても仕方がない。犯した過ちを償わないとね。ツケを払わなきゃならないのは分かってるわ。

２４：５４ ナレーター この乗客は5.5キロ以上のコカインを所持していたことが判明しました。

 （ＳＥ　手錠）

２５：０５ この先はペルーの司法システムにゆだねられます。

 今回のケースは８年から１５年の刑に処されるかもしれません。

コカイン5.67キロ

８年～１５年の懲役

目的地：メキシコ

ＡＣＴ４ 　　　（Ｍ）

２５：２４ ナレーター 入国審査はホルヘ・チャベスで最も忙しい部門の１つ。およそ２００人の入国審査官が１日平均２万人ほどの乗客の審査を行っています。

２５：３５ 男性審査官 どうぞ良い旅を。

２５：３７ ナレーター どんな状況にも対応できるよう訓練されているのでペルー代表サッカーチームが来ても臨機応変に対処します。

 　　　（ＳＥ　飛行機）

２５：５３ しかし空港のセキュリティチームは、いかなる時も気を抜けません。

２５：５８ 男性職員 搭乗券はおじさんが買ったんですか？]

２６：０４ ナレーター メキシコ行きの別の便が出発準備中。

２６：０９ この空港で最も薬物が押収される率が高いのがメキシコ行きの便なので空港内の全セキュリティチームが警戒しています。

２６：２０ Ｘ線スキャナーは手荷物品と乗客の両方に課される検査の最後の砦となります。

２６：２９ ターミナル内にいる不審な若い男性に審査官が目をつけ素早くセキュリティプロトコルを開始します。

ペルー税務監督庁

税関職員

２６：３７※英語かぶせ ガブリエラＯＮ [この男性はカウンターへ最後に来ました。彼は新しいパスポートを所持していて荷物は１つもありませんでした。そこで我々は違法薬物を胃に隠しているのではないかと疑いを持ちました。

２６：５１ ナレーター もし潔白なら予定通り飛行機に乗せたいので、審査官は彼をボディスキャンルームへ連れていき麻薬取締官に知らせます。

２７：０１ コルドバ 胃に隠した疑いのある者が２階にいる。

２７：０４ すぐに向かいます。

２７：１０ ナレーター 出発時刻が迫っているため迅速に行動しなくてはなりません。

２７：１７※英語かぶせ ガブリエラＯＮ [Ｘ線画像を見ると、不審な影があるのが分かりました。

２７：２２ [胃の中に異物が入っていました。

２７：２５ ナレーター この乗客は違法薬物入りのカプセルを飲み込んでいるかもしれません。警察は自白を促します。

２７：３２ コルドバ 正直に答えて。薬物を飲み込んだ？

２７：３６ 運び屋男 いいえ。

２７：３６ コルドバ 本当に？

２７：３７ 運び屋男 はい。

２７：３８ コルドバ [このＸ線画像を見ると、あなたの胃の中に異物が入っているようですが。]

２７：４５※繰り返し [胃の中に異物が…]

ペルー国家警察

麻薬取締官

２７：４７※英語かぶせ コルドバＯＮ ボディスキャンで胃の中に異物があることが分かりましたが、本人は胃の中に薬物を隠していることを断固として否定していました。

２７：５７ [滞在期間は５日？]

２７：５８ 運び屋男 はい、そうです。

２７：５９ コルドバ [ずいぶん短いけどペルーでどこを訪れた？]

２８：０２ 運び屋男 行ったのは…

２８：０３ コルドバ [どこです？

２８：０５ 運び屋男 [ミストゥーラ]

２８：０６ コルドバ [ほかには？]

２８：０７ 運び屋男 あと…なんて所だっけ

２８：０９ コルドバ [クスコ？]

２８：１０ 運び屋男 いや、違う。

２８：１２※英語かぶせ コルドバＯＮ はるばる旅して来たのにリマしか訪れていないことが目を引きましたし、質問の答えを考える時間がかかっています。

２８：２１ ナレーター この乗客は無実を主張していますが警察は疑っています。

２８：２９ Ｘ線画像と質問への回答から、さらなる捜査が行われることになりました。この乗客は麻薬取締部門の本部へ連れて行かれます。そこで検察が逮捕の手続きを進めます。

２８：４２ ジョゼフ [それを机に置いて座って

２８：４７ ナレーター 自白は警察にとって良い点が２つあります。すみやかに逮捕できて、すぐに治療を受けさせることができます。

２８：５５ アズリン なぜ君が否認するのか分からない。我々はＸ線画像をすでに見ている。

２９：０１ そういう態度を我々は日頃から見慣れているが、どうせいずれ明らかになるのになぜウソをつく？

２９：０９ [犯罪組織は立場の弱い者を食い物にしている。君は彼らにうまいことを言われて利用された。]

２９：１７ それで結局、割を食うのは誰だ？　身を滅ぼすことになるのは？

２９：２３ 運び屋男 僕。

２９：２４ アズリン [この手口で大勢命を落としてる。]

２９：２６ 運び屋男 それはもう聞いた。

２９：２８ アズリン [何度でも言うがコカイン入りのカプセルは少しずつ劣化する。カプセルが破裂して君の身に悪いことが起きてほしくない。

２９：３９ 頼むからそのことを理解してほしい。

２９：４３ コカインを隠してる？

２９：４５ 運び屋男 何かを飲み込んだけど…

２９：４７ アズリン [よし、それで？何を飲み込んだか教えてくれ。

２９：５２ 運び屋男 [小さな袋。

２９：５３ [小さな袋。]

２９：５４ ※繰り返し アズリン [それを何個飲み込んだ？おおよその数でいい。]

２９：５８ 運び屋男 ２０個くらいかな。]

３０：００※繰り返し [２０個くらい…]

３０：０１ アズリン [２０個くらい？]

３０：０２ 運び屋男 はい。

３０：０４ ナレーター ついに麻薬取締官が自白を引き出しました。

３０：０９※英語かぶせ コルドバＯＮ [飲み込んだカプセルが１つでも破裂した場合、過剰摂取で死に至る可能性があります。

３０：１７ ナレーター この男性は病院へ移送されます。

３０：２２ そして医師の監視のもと全てのカプセルを排出するまで病院の監視下に置かれます。

ＡＣＴ５

３０：４０ ナレーター ホルヘ・チャベス国際空港。

３０：４３ アムステルダム経由バンコク行きの便の出発まであと２時間です。

３０：４８ 麻薬取締部隊は厳重に警戒中。

３０：５２ この空港でオランダ行きの便はコカインの押収件数が４番目に多いのです。

３１：０３ 搭乗手続きの列に落ち着きのない人物がいるのに目をとめた取締官たちは調べることにしました。

３１：１０ この乗客は２８歳のロシア人男性。

３１：１４ まだ尋問が始まっていないうちから彼はひどく緊張しています。

３１：２２ アズリン スペイン語は話せますか？多少なりとも。

３１：２６ ロシア人男 たぶん話せると思います。

３１：２８ アズリン 流暢に話せるようなのでスペイン語で質問します。

３１：３３ このスーツケースはあなたの物ですね？

３１：３８ [これはペルーの通常の手続きで、我々は麻薬取締官です。

３１：４２ ロシア人男 スペイン語で話してるけど…

３１：４４ アズリン 理解できますか？

３１：４６ ロシア人男 いいえ…

３１：４７ アズリン ではゆっくり話します。

３１：４８ ロシア人男 ゆっくり。

３１：４９ アズリン [分かりました。これはあなたのスーツケース？]

３１：５３ ロシア人男 このスーツケースは…

３１：５５ アズリン [簡単な質問ですよ。あなたの物か、違うのか。]

３１：５８ ロシア人男 僕の物です。

３１：５９※繰り返し [僕の物です。]

ペルー国家警察

麻薬取締官

３２：０１※英語かぶせ アズリンＯＮ [このロシア人は尋問中に様子がおかしくなりました。震え出し、緊張し始めたのです。

３２：０９ アズリン [スーツケースを開けます。]

 （Ｍ）

３２：１４ ナレーター 一見、なんら問題のないスーツケースのようですが警察は筋力増強プロテインパウダー入りの容器を２つ見つけました。

３２：２３ しかしその中身は体には良くなさそうな物のようです。

３２：２８ アズリン [我々は今からこれの分析を行います。]

ペルー国家警察

麻薬取締官

３２：３３※英語かぶせ キャサリンＯＮ [アスリート向けのプロテインパウダーの大きな容器２つの中に薬物がぎっしり詰まっているのを見つけました。すると彼の手が震え出し、まばたきを始めました。彼は非常に動揺し、しきりにまばたきを繰り返し泣き出しそうになりました。自分が有罪であることを示す何かが見つかってしまうとパニック状態になったのでしょう。

３２：５６ アズリン [検査結果を見てください。青に変色しました。コカインの陽性反応が出たということです。]

３３：０５※繰り返し [コカインの陽性反応…]

 （Ｍ）

３３：１２ 違法薬物の密輸容疑で逮捕します。分かりましたか？

３３：１８ ナレーター この乗客は正式に逮捕されました。

３３：２１ 麻薬取締本部で法的手続きが進められます。

３３：２５ しかし問題が発生。

３３：２７ アズリン ドアを閉めてくれないか。

３３：２９ ナレーター このロシア人は検査室を出るのを拒んだのです。

３３：３３※英語かぶせ アズリンＯＮ [彼は岐路に立たされて激しく動揺したようです。パニック状態になり恐怖に駆られ外へ出たくないと言い張りました。ターミナルへは行きたくないと言うのです。

３３：４５ アズリン ペルーでは人権が重んじられる。こうしたことは日常茶飯事だ。

３３：４９※英語かぶせ キャサリンＯＮ この男性は心臓が激しく打って冷や汗を大量にかいているようでした。注目を引くことをひどく嫌がっているようでした。自分の身に何かが起きるのではないかと怖れていたのでしょう。]

 （Ｍ）

３４：３０ ナレーター 胃に麻薬入りカプセルを隠してメキシコへ行こうとした乗客が空港で足止めされました。

３４：３６ コルドバ [この画像に異物が映っている。]

３４：３８※繰り返し [異物が映っている。]

３４：４０ ナレーター この乗客は罪を認めた後、カプセルを排出するために病院へ移送されました。

３４：４８ ３日後、この若者は空港の麻薬取締本部へ戻ってきました。

３４：５４ 逮捕の手続きを完了するために彼は検察と向き合うことになります。

３５：１０ 運び屋男 １…

３５：１３ [２…]

３５：１４ マリッリ [数えながらきちんと並べて置いてください。

３５：１９ 運び屋男 [４６、４７…]

３５：２４ ５０。

３５：２５※繰り返し [５０…５０…５０…５０…]

３５：３５ マリルー [この青い色はコカインの陽性反応が出たことを示しています。

３５：４２※繰り返し [コカインの陽性反応…]

 （Ｍ）

ペルー国家警察

麻薬取締官

３５：４７※英語かぶせ マリッリＯＮ この若者はカプセル５０個を飲み込んでいました。所持していたコカインの総量は１キロ３２２グラムです。

３５：５６ ナレーター 病院で過ごした後この乗客の態度は変化していました。

３６：０２ 前回は非協力的でしたが、今回は警察に詳細を話すことにしました。

３６：１２ マリッリ どうやって彼らと接触しました？]

３６：１５ 運び屋男 メールを通じて。

３６：１６ マリッリ ここで待っていた？それともよそへ行った？

３６：１９ 運び屋男 連れていかれた部屋へ眠りに行きました。そして眠っているところへ彼が戻ってきて、また出ていき、飛行機が出る土曜日の朝６時頃に戻ってきた。７時頃カプセルを飲み込み始めました。

３６：３５ マリッリ あなたはカプセルを飲み込んだんですね？]

３６：３７ 運び屋男 はい。

３６：３８※繰り返し [７時頃カプセルを飲み込み始めました…]

３６：４３ 午後２時半から３時の間にタクシーに乗せられ１人で空港へ来ました。

３６：４９ ナレーター ようやく逮捕手続きが完了しました。

３６：５２ 提供した情報が有益なら減刑になるかもしれません。

ペルー国家警察

麻薬取締官

３６：５８※英語かぶせ ジョセフＯＮ 彼は自分が何をしているか分かっていました。わけも分からずに無理強いされたのではありません。報酬につられて犯罪に手を染めることになるのを理解していました、

３７：１２ ナレーター ２０１６年ホルヘ・チャベス空港で逮捕された運び屋のうち男性は１１６人で女性は４０人。逮捕者のうち６２人はペルー人でした。

３７：２４ 残りの９４人は外国人です。

３７：３０ この乗客は１キロ３２２グラムの液体コカインをメキシコへ運ぼうとしていたことが判明しました。

３７：３８ この罪により彼には最長で１５年の刑が科せられる可能性があります。

コカイン1.32キロ

８年～１５年の懲役

目的地：メキシコ

ＡＣＴ６ （Ｍ）

３７：５４ ナレーター ホルヘ・チャベス国際空港では１万５千人以上の人々が働いています。その中には空港の職員や航空会社の職員も含まれています。そしてもちろん、セキュリティ担当者たちも。

ロシオ･エスピノサ･オルジャイ

広報担当

３８：０８※英語かぶせ ロシオＯＮ [皆この空港でセキュリティ問題に対処できるよう訓練されています。セキュリティに関する手順は明確に定められているので、どのような乗客の状況にもきちんと対応できるのです。この空港は３６５日２４時間フルに稼動しています。

３８：２７＝２５：３５ 男性審査官 どうぞ良い旅を。

 　　　（Ｍ）

３８：３４ ナレーター バンコクへ向かおうとしていたロシア人はコカインを隠したプロテインパウダーの缶を２つ所持していました。

３８：４２ アズリン [青に変色した。コカインの陽性反応が出たということです。]

３８：４７※繰り返し [コカインの陽性反応…]

３８：５０ ナレーター 警察は彼を麻薬取締本部へ連れていこうとしましたが、このロシア人は動こうとしません。

３８：５７ ターミナルを歩くのを恐れているようでした。

３９：０２ アズリン 医師や検察に話したい？

３９：０５ ロシア人男 医師？

３９：０６ アズリン そう、医師や検察に話したい？移動はしたくないけど検察になら話す？

３９：１２ ロシア人男 ええ、それって…

３９：１５ もし保護してもらえるなら、そうしたい。

３９：２０ アズリン そう？

３９：２１ ロシア人男 はい。

３９：２２ ナレーター プランＢに変更です。このロシア人には手錠をかけず、混雑したターミナルを避ける別ルートをとることになりました。

３９：３２ その見返りとして容疑者は薬物密売グループの情報を提供します。

３９：３７ アズリン 自然にふるまおう。

３９：３９ ロシア人男 はい。

３９：４１ アズリン 準備はいいか？

３９：４２ 女性警官 カウンターの後ろへ？

３９：４３ アズリン ああ、うしろから。

 （Ｍ）

３９：５２ ナレーター 移動は成功です。これから麻薬取締官の取り調べが始まります。

３９：５９ 土産品を大量に持っていました。よくある密輸の手口ですが何も出てきません。

４０：０６ すると… コカインの塊が無造作にビニール袋に入っていました。

４０：１４ 隠そうとする手間をほとんどとっていません。

４０：２８ 男性警官３ コカインの陽性反応が出ました。

４０：３２※繰り返し [コカインの陽性反応が出ました…]

４０：３６※英語かぶせ アズリンＯＮ [杜撰な手口なのでＸ線検査で容易に探知されるでしょう。

４０：４１ ナレーター アムステルダム経由でバンコクへ向かうロシア人は薬物をほとんど隠していませんでした。

４０：４６ ロシア人男 [僕は旅行代理店で、ツアーガイドをしています。

４０：５１ プロデューサー男 [ツアーガイドを？]

４０：５２ ロシア人男 ええ、いろんなホテルを移動してます。

４０：５６ プロデューサー男 [なぜこんなことをしたんですか？]

４０：５８ ロシア人男 それは…　会社を発展させるためです。

４１：０５ 利益をあげなくてはならなかったんです。分かります？

 （Ｍ）

４１：１６ ナレーター コカインの総量は３キロ８９８グラム。このロシア人男性は８年の刑に処される可能性があります。

４１：２５ しかし警察に有益な情報を提供すれば、懲役６年８か月に減刑されるかもしれません。

コカイン3.9キロ

６年８か月の懲役

目的地：バンコク

 （Ｍ）

ヴィセンテ･ロメロ･フェルナンデス

ペルー国家警察　長官

４２：０６※英語かぶせ ロメロＯＮ ２０１６年に我々はホルヘ・チャベス国際空港における麻薬密輸率を下げることができました。]

４２：１８ [これは各部署との連携がうまく機能しているために成し遂げられたことです。検察当局も含めた、この合同捜査によって空港のセキュリティが格段に向上しました。]

４２：３１ コルドバ 正直に言ってほしい。薬物を飲み込んでる？

４２：３４ 運び屋男 いいえ。

４２：３５ コルドバ 本当に？

４２：３６ 運び屋男 はい。

４２：３６ コルドバ [この画像によると、あなたの体内に異物があるようですが。]

ペルー税務監督庁　庁官

ジョバンニ･グイサド･スロアガ

４２：４４※英語かぶせ ジョバンニＯＮ [世界的な犯罪組織は様々な手段を講じてきます。そのため、どの人物を調べるべきかを見極めるのが我々の仕事でとりわけ重要となっているのです。]

４２：５７ ジョセフ このスーツケースの中身を調べます。

４３：０３＝１０：０７ ヤネラ [パウダーね？]

４３：０４＝１０：０９ ジョセフ [そうだ。]

４３：０５＝１０：１０ ヤネラ [強烈なニオイのスパイスパウダーを見つけました。

４３：１０※英語かぶせ ジョバンニＯＮ [我々は様々なリスク要因を検討します。

４３：１５※英語かぶせ ロメロＯＮ [ハイリスクのルートにはハイリスクのフライトが付き物です。たとえばオランダがそうです。アムステルダムにはヨーロッパの玄関口となる空港があるので密売人にとって非常に有望な市場となり得るのです。

４３：２９ チャン [あなたは体内にコカインを隠して運んでいた。]

ペルー国家警察

マリオ･アルサモラ･バリュホ

４３：３３※英語かぶせ マリオＯＮ [先ごろ７４キロのコカインを押収しました。運び屋が向かおうとしていた国で７４キロのコカインの価格はおよそ５２０万ドルです。]

４３：４８※英語かぶせ これが密輸を誘発する問題となっています。高額の報酬という口車に乗せられて運び屋として利用されてしまうのです。

４３：５９＝４０：５６ プロデューサー男 [なぜこんなことをしたんですか？]

４４：０１＝４０：５８ ロシア人男 それは…　会社を発展させるためです。

４４：０６＝２３：３８ メキシコ人女 お金に目がくらんだの。

４４：０９＝２４：４２ [そのツケを払わなきゃならないことは分かってるわ。

４４：１４※英語かぶせ マリオＯＮ [ホルヘ・チャベス国際空港でみられる密輸の手口のなかで細心の注意を要するのはカプセルを飲み込む方法です。なぜかというと命の危険があるからです。カプセルに何か起きてしまうと大変なので時間との戦いになります。

４４：３３ アズリン カプセルを出さないと体に害が及ぶ]

４４：３８※英語かぶせ ジョバンニＯＮ 受け取る報酬がいくら良くても、とても割に合わない大きなリスクを負うことになります。]

４４：４４＝３５：１９ 運び屋男 [４６、４７…]

４４：４９＝３５：２４ ５０。

４４：５２※繰り返し [５０… ５０… ５０… ５０…]

４４：５５※英語かぶせ ジョバンニＯＮ 「ミイラ」と呼ばれている手口もあります。]

４４：５９＝０２：０３ チャン そのスウェットシャツを脱いでください。]

４５：０３※英語かぶせ ジョバンニＯＮ [これも運び屋にとって危険な手口です。]

４５：０７※英語かぶせ ロメロＯＮ [警官としてこの素晴らしいチーム、とりわけ麻薬取締部門を誇りに思っています。捜査手法に精通したその仕事ぶりや社会貢献に大いに満足しています。

 　　　（Ｍ）

黒み （終わり）